

カリキュラム 〈社会〉

受験社会では、現在の日本の様相（地理）、日本の過去からのありようの変化（歴史）、日本の統治のメカニズム（公民）と、日本の国に対する多面的な理解が求められます。また、それらの面から統合された日本への理解、すなわち将来日本社会に積極的に参画し、自分の日本観を語り他人の日本観を受け入れ思考する素養を持つことも必要です。知識をただ教えるのではなく、理解をもとめる社会の指導を行います。

1. 地理

地理は、山や川、平野などの天然についての知識と、様々な産業といった人工についての知識・理解を目指します。天然の理由で人工が成り立ち、そうした成り立ちが時代に応じて変化していく様子を学習していきます。

2. 歴史

歴史は、編年体の事実としての暗記にとどまらず、集団の形成、時代や価値観の変化に応じた集団を統治していく技術の変化、統治される側と統治する側との摩擦といった側面から、それぞれ原因と結果としての理解が求められます。そうした理解を得ることができるような、歴史的事象の原因と結果の説明を軸とした指導を行います。

3. 公民

現代の日本の統治原理を、国民主権を軸に、いかに人権を守り、またいかなる時に人権が公益と緊張関係に立つのかを説明します。また、直近のさまざまな事件が公民的知識体系においてどのように説明されるのかも理解できるように解説を加えます。